

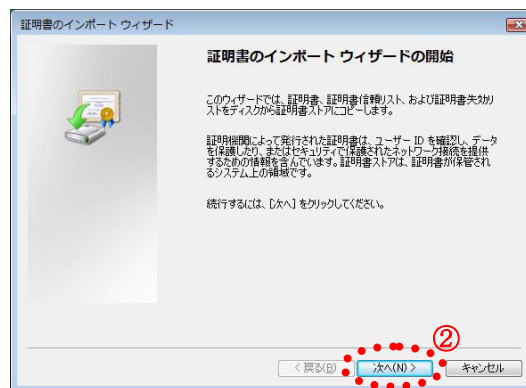
インポートウィザードを起動して証明書をインポートします。 **インポート**

① 管理者から配布された証明書ファイル (xxxxxx.p12 ファイル) をダブルクリックします。

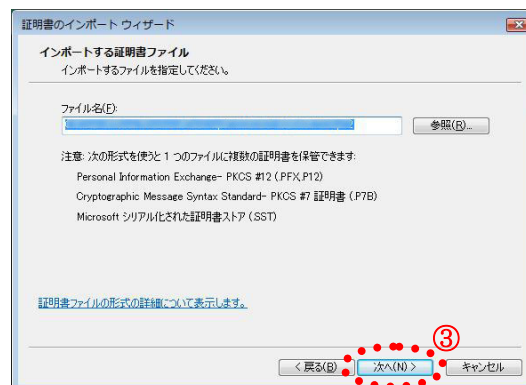


② 「証明書のインポートウィザード」が起動します。

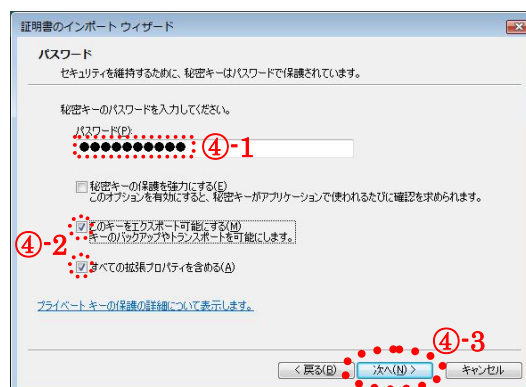
次へ ボタンをクリックします。



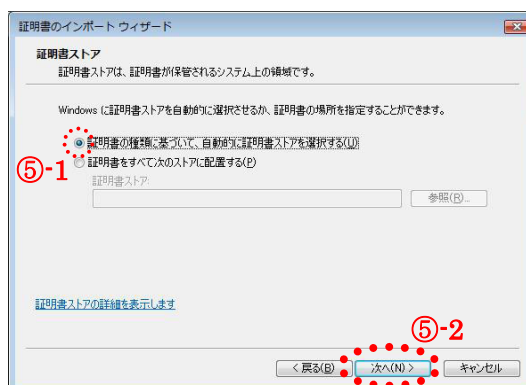
③ 変更する必要はありません。**次へ** ボタンをクリックします。



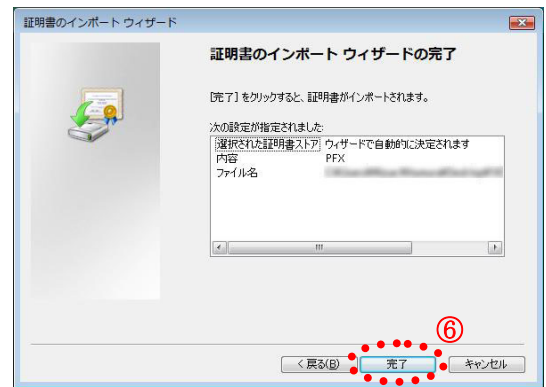
④ 管理者から証明書ファイルと一緒に配布されたパスワードを入力し、「このキーをエクスポート可能にする、キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「すべての拡張プロパティを含める」を✓して、**次へ** ボタンをクリックします。



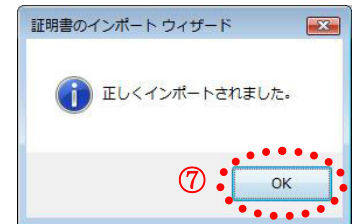
⑤ 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」のオプションが選択されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ⑥ 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されます。**完了** ボタンをクリックします。



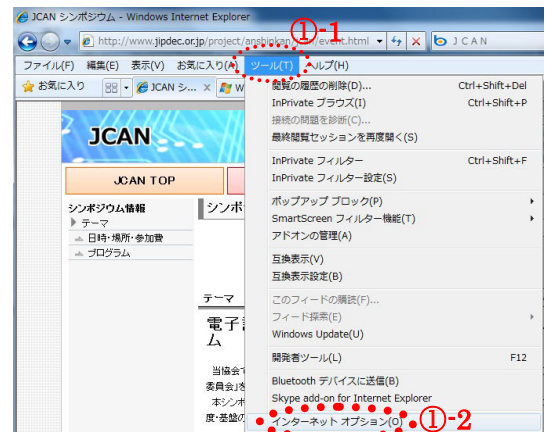
- ⑦ 「正しくインポートされました。」というメッセージが表示されたことを確認し、**OK** をクリックします。



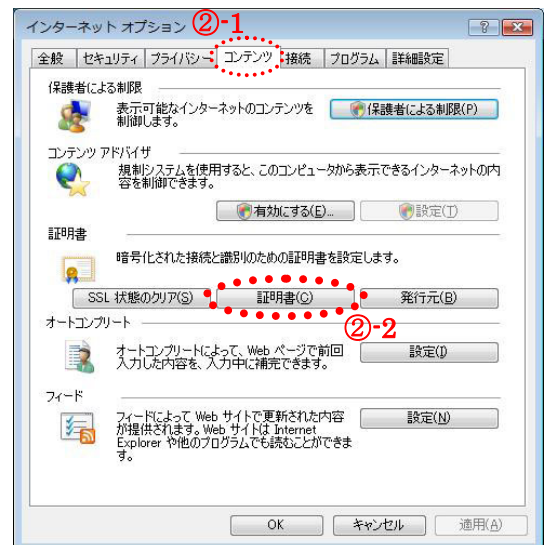
以上で OS へのインポートは終了です。

次に証明書ストアに組み込まれたことを確認します。 **確認**

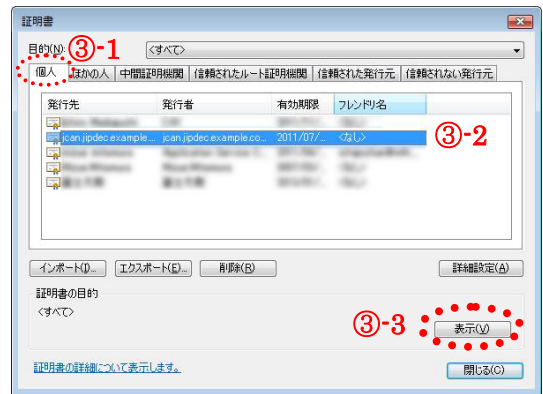
- ① Internet Explorer を開き、《ツール》メニューから《インターネットオプション》をクリックします。



- ② [インターネットオプション] ダイアログボックスの「コンテンツ」タブをクリックし、**証明書** ボタンをクリックします。

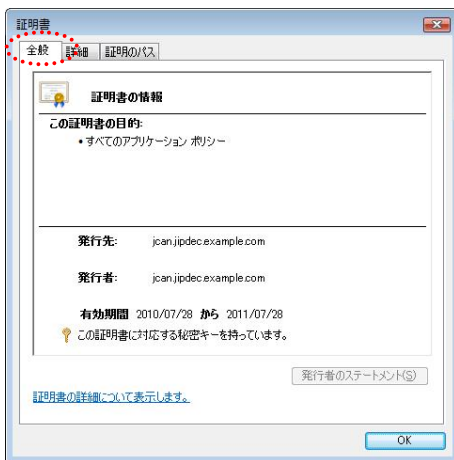


- ③ 「個人」タブに新しい証明書が組み込まれていることを確認します。
 確認する証明書を選択し、「表示」ボタンをクリックします。

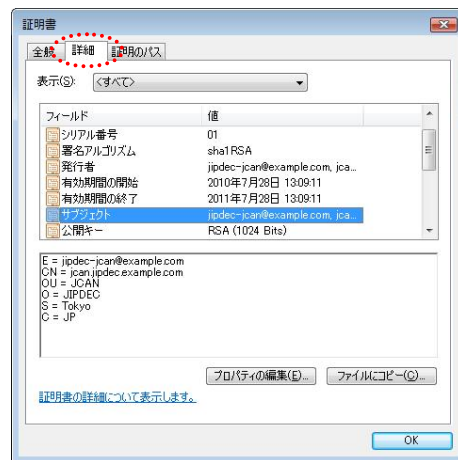


表示された「証明書」ダイアログボックスで確認できる内容は、P5と同様です。

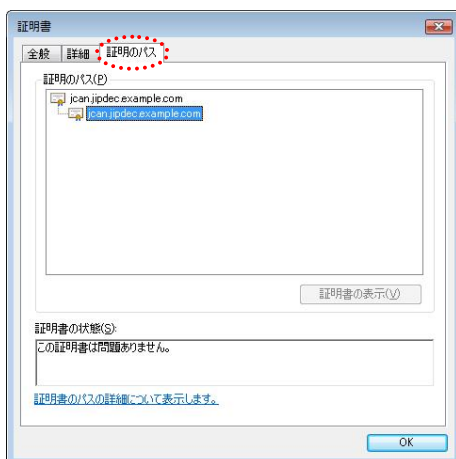
■ 「全般」タブ



■ 「詳細」タブ



■ 「証明のパス」タブ



確認後は、「OK」ボタンをクリックして「証明書」ダイアログボックスおよび「インターネットオプション」ダイアログボックスを閉じます。

以上で確認は終了です。Windows を再起動してください。